



城北信用金庫



6名の雇用アスリートによる地域のスポーツ教室や講演会の開催

平成30年7月現在、トップアスリート6名(アスナビ採用)を採用している。アスリート職員は、まず競技者として立派な成績をあげられるよう日々の練習に励んでいるが、一方で可能な限り地域の方々たちと交流を持ち、地域との「つながり」づくりに貢献している。

また、アスリートと地域の皆さまとの交流の場を通じて、地域のスポーツ振興に取り組んでいる。

小中学生を対象とするスポーツ教室では、子供たちにトップアスリートの技を間近に見ていただくなど、スポーツの魅力をアスリート本人が身を持って伝えている。

さらに、地元経営者向けの講演会では、スポーツにより育まれる精神力や思考法をお話しするほか、当金庫のアスリート支援の取り組みも紹介し、支援の輪を広げている。



企業 DATA

所在地
荒川区

業種
金融業

総従業員数
約2,400名

専用サイトにおける雇用アスリートのプロモーション

当金庫では、在籍する6名のアスリート職員が、競技の違いを超え「Johoku Athletes Club」としてひとつのチームを作っている。「Johoku Athletes Club」のプロモーションとして、当金庫公式サイト内に専用ページを設け、競技日程や成績などを紹介しているほか、別途アスリートのプロモーションサイト「Athletes Zero(アスリート・ゼロ)」を立ち上げ、世界に挑む彼女たちのひたむきな姿を、広く地域の皆さまにお伝えしている。将来的には、当金庫所属アスリートに限らず女性アスリート全般を対象を挙げ、国境を越えて輝きを放つ彼女たちの魅力を発信したいと考えている。



地元企業とアスリートとの採用マッチング支援

地域企業の皆さまに、アスリート雇用に対する理解を深めていただくための取り組みとして、JOCが主催する「アスナビ」説明会の開催支援(講師派遣、地元企業へのご案内)や、「アスナビ」でアスリートを採用された企業さまへの個別アドバイスなどを行っている。



現役を引退した雇用アスリートによる現役選手のマネジメント支援

トップアスリートとして輝くことはもちろん大切だが、現役引退後の長い人生を社会人としてのやりがいを感じながら過ごしていくことも、若いアスリートたちにとっては大変重要なことである。当金庫では、現役引退後も見据え、高い人間性や広い視野をもった社会人に成長してほしいとの思いから、アスリート職員を対象とする研修も実施している。現在、現役を引退した選手1名が、今度は仲間を支える側に立ち、アスリートマネージャーとして活躍している。

地域スポーツイベントへの支援

「東京・赤羽ハーフマラソン」に特別協賛し、入賞者への副賞(お取引先にご協力いただき職員が手作りで詰め合わせたもの)や選手のゼッケン、スタートゴールの支柱などを提供するほか、レースのスターター、表彰式のプレゼンターも役職員が務めている。

また、毎年50名前後がランナーとして参加し、沿道では多くの役職員が応援に参加している。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

スポーツは、楽しく身近な存在であると同時に、世界共通の文化であり、人の成長に欠かせない多くの学びに触れる機会でもあります。技能を高めるためのコミュニケーション能力、様々な価値観を互いに認め合い共有する姿勢、自身の目標を定め高みを追求しようとする強固な意志…スポーツが育む力は、元気な地域社会を作る上でも極めて重要な要素です。

当金庫ではアスリート職員を中心としたスポーツ教室や講演会などの開催、地域スポーツイベントの支援を通じて、スポーツの万能性への理解を広め、より豊かな地域づくりに貢献してまいります。